

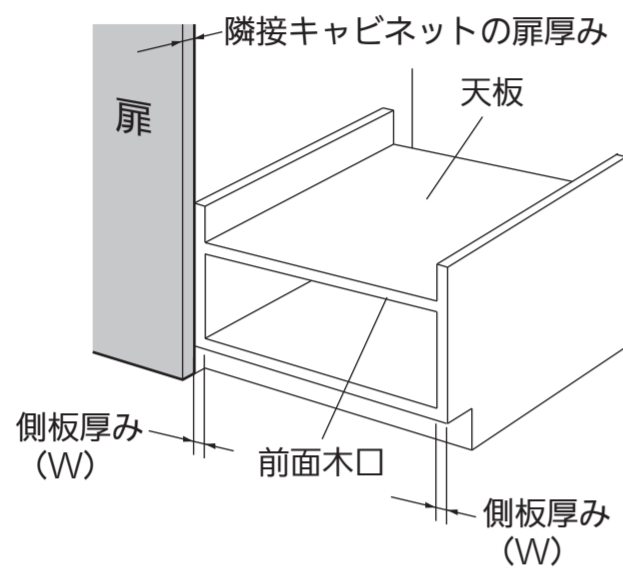
※機器の入れ替えの場合は、取付設置説明書を確認してください。

## 転倒防止金具・調整金具用 型紙の使用法

### STEP 1 型紙の不要な部分の折り曲げ・切り取り

①型紙(本紙)左右端部…収納キャビネットの側板の厚み(W) (【図1】)に応じて型紙(本紙)の左右端部を【表1】の左右折り曲げ位置で折り曲げてください。

【図1】



【表1】

側板の高さ	側板の厚み(W)	左右折り曲げ位置
天板と同じ高さ	0 mm (側板なし)	折り曲げ「不要」
天板より上にある	15 mm	外側の破線
	18 mm	内側の破線

②型紙後端部…型紙(本紙)の後部(2か所)をキリトリ線に合わせて切り取ってください。

### STEP 2 型紙の固定と穴あけ位置の目印付け

■収納キャビネットに下穴が開いている場合(メーカー製のキャビネット等)

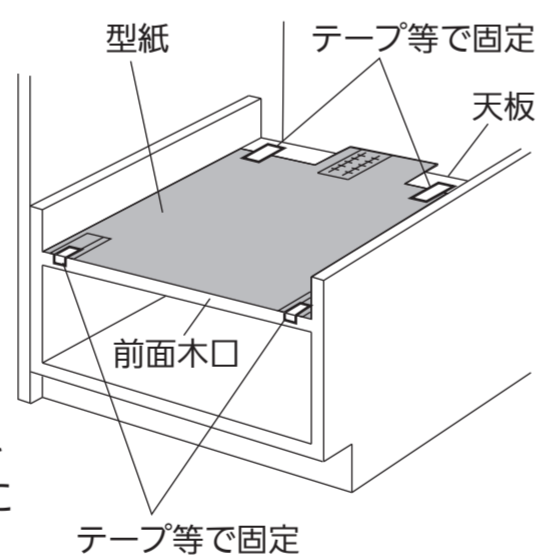
①調整金具の位置決め⇒型紙(本紙)の調整金具用のネジ穴「0」(左右各2か所)を、収納キャビネットの下穴位置に合わせて型紙(本紙)をテープ等で固定してください。【図2】

②転倒防止金具の位置決め⇒収納キャビネットの転倒防止金具用のネジ穴の位置が、型紙(本紙)のネジ穴A~G、X、Yのいずれと合っているかを確認し、転倒防止金具(実物)の同じ記号の刻印に、マジック等で目印を付けてください。

■収納キャビネットに下穴が開いていない場合、および、他社食洗機からの入れ替え時  
調整金具と転倒防止金具を取り付けるための下穴を収納キャビネットの天板に開けます。

①型紙(本紙)の前端を収納キャビネットの前面木口に合わせ、【図2】のようにテープ等で固定してください。

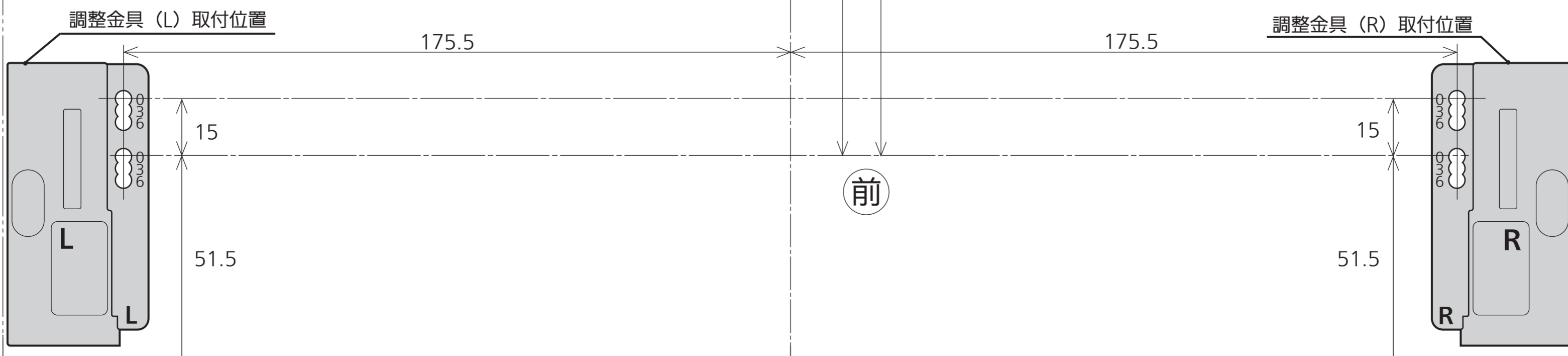
【図2】テープ固定方法



②調整金具の位置決め  
⇒型紙(本紙)の調整金具用のネジ穴「0」(左右各2か所)の中心に目印(キリまたはポンチ)を付けてください。

③転倒防止金具の位置決め  
⇒型紙(本紙)の転倒防止金具のネジ穴A~G、X、Yの中から天板の後端部より10 mm以上手前に位置するネジ穴(左右各1か所)を任意に選びます。選んだネジ穴位置の中心に目印(キリまたはポンチ)を付けてください。また、転倒防止金具(実物)の同じ記号の刻印に、マジック等で目印を付けてください。

④型紙(本紙)を外して、②と③で収納キャビネットの天板に付けた目印位置に、φ2.5、深さ12 mmの穴を精度よく開けてください。



転倒防止金具取付位置

後

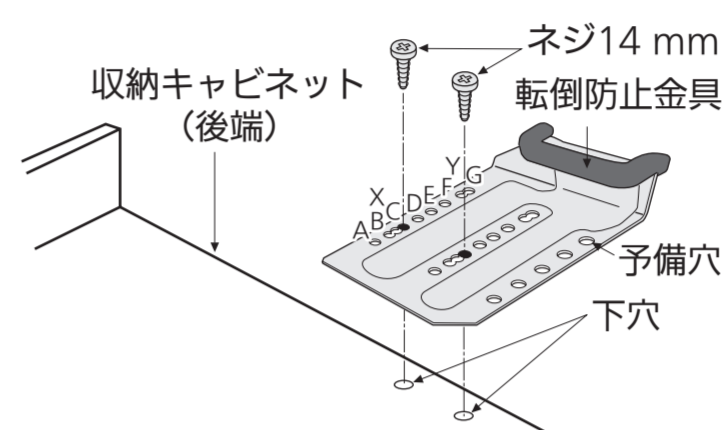
### STEP 3 転倒防止金具の取り付け

マジック等で目印を付けた転倒防止金具の記号の穴を使い、収納キャビネットの下穴位置に合わせて2本のネジ(14 mm<同梱>)を取り付けます。【図3】

※ネジは必ず手で締めてください。(電動ドライバーは使わないこと)

※万一ネジが締まらなくなった場合は、予備穴にネジ14 mmで止め直してください。

【図3】取り付け事例(C列の穴を使用)



### STEP 4 調整金具の取り付け

型紙(本紙)に合わせて開けた下穴の位置に、4本のネジ(14 mm<同梱>)を使って調整金具(左右各1か所)を取り付けます。取付位置は【表2】【図4】をご参照。

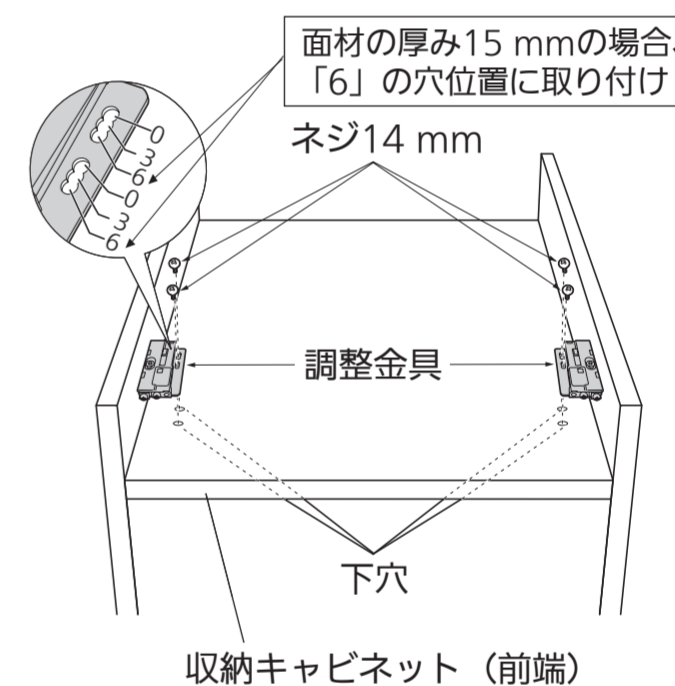
※ネジは必ず手で締めてください。(電動ドライバーは使わないこと)

※調整金具の取付位置を間違えると、食洗機取り付け後、キッチンのドアと面材が揃いません。

【表2】ドア面材の厚みとネジ固定穴位置

面材の厚み	ネジ固定穴位置
15.5 mm以下	「6」の位置
15.5 mmより大きく 18.5 mm以下	「3」の位置
18.5 mmより大きい	「0」の位置

【図4】取り付け事例  
(面材の厚み15 mmの場合)



### ご注意

食洗機取り付け後、隣接するキャビネットに合わせ、調整金具で面材の「高さ・前後」を調整してください。(※取付設置説明書ご参照)

